

**スカイマーク 宮古(下地島)=羽田線・神戸線・那覇線が就航2周年を迎えました**  
～コロナ禍にも拘わらず2年間で延べ36万人のご利用、旅客・貨物両面で宮古島へ好効果～

スカイマークの宮古(下地島)=羽田線は国土交通省航空局の実施する「羽田発着枠政策コンテスト」にて羽田空港発着枠の暫定配分を受け2020年10月25日に就航、神戸線と那覇線も同時開設されました。複数路線開設されたことにより、宮古島と直行の首都圏(羽田)・関西圏(神戸)・沖縄本島(那覇)のみならず、乗継で北海道(新千歳)・中部圏(名古屋(中部))・九州圏(福岡)・北関東(茨城)が繋がるなど、日本全国とのネットワークが構築され、コロナ禍にも拘わらず2年間で延べ36万人のお客様にご利用いただきました。



▲ 2020年10月25日スカイマーク就航時の放水アーチ



▲ 2022年7月14日 羽田線10万人達成お出迎え

下地島空港活性化協議会(会長:座喜味一幸)<sup>(※1)</sup>が過去4回下地島空港利用者向けに実施したアンケート<sup>(※2)</sup>によると、新たな価格帯の航空運賃の提供により、以下特長が見受けられています。

- ・ 宮古島へのリピーターの増加 (下地島利用者は40%以上、沖縄県調査<sup>(※3)</sup>の宮古圏域全体27.8%より多い)
- ・ 宮古島における宿泊数増加 (下地島利用者は平均3泊以上、沖縄県調査<sup>(※3)</sup>の宮古圏域全体2.86泊より多い)
- ・ 50代未満の割合が増加 (下地島利用者は6割以上、沖縄県調査<sup>(※3)</sup>による宮古圏域全体の55.3%より多い)

(※1) 本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織。

(※2) 1回目:2020年12月1日~2021年1月5日、2回目:2021年7月26日~2021年9月30日、  
3回目:2021年12月1日~2022年1月4日、4回目:2022年7月27日~2022年9月30日、の計4回実施  
結果の詳細に関しては、<参考2>ご参照下さい

(※3) 沖縄県『観光統計実態調査(令和3年度版)』

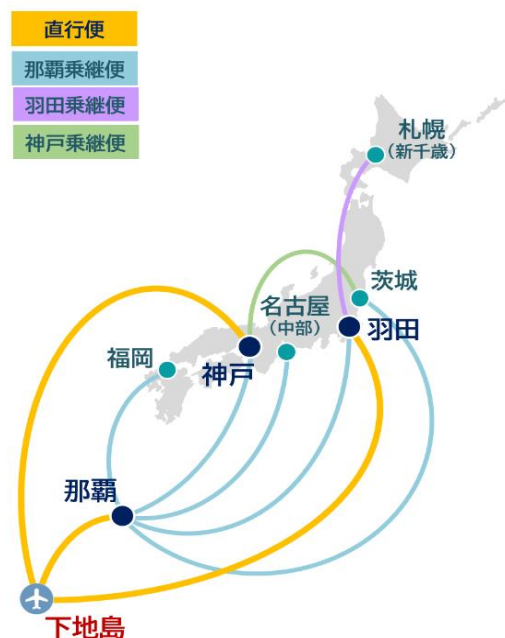
また、2021年7月より宮古島市実証事業として下地島=羽田線にて首都圏や沖縄本島向けの国内航空貨物取り扱いを開始し、今まで約500トンを送りました。本取り組みにより、宮古島の国内貨物取扱量が純増したことで、特に夏場はマンゴーなどの滞貨(運搬容量不足による島内への滞留)の解消にも寄与しました。

スカイマークの就航2周年にあたり、会長を務める宮古島市の座喜味市長は以下コメントしております。  
 「コロナ禍にも拘わらず36万人ものお客様にご利用いただいたのは大変ありがたい。羽田線はコンテスト期間中ゆえ来年10月末までの『暫定』運航の位置づけではあるが、神戸線、那覇線合わせて、旅客・貨物共に地域に良い効果が出ており、今や宮古圏域にとって欠かせない路線となっている。これらの路線が無くならないよう、まずは羽田線を『恒久』運航とすべく、地域と航空会社一丸となって羽田空港の発着枠を獲得できるよう、引き続き頑張っていきたい」

本協議会は、今後も官民一体となって下地島空港活性化に向けた施策を立案・推進し、宮古圏域のさらなる活性化を目指します。

<参考1> スカイマーク 宮古(下地島)空港関連路線のスケジュール(22年10月25日~23年3月25日)

発着地	各地 ⇒ 下地島			下地島 ⇒ 各地			
	便名	各地発	下地島着	便名	下地島発	各地着	
直行	羽田	613	11:05	14:35	618	17:15	19:45
	神戸	163	10:40	13:20	164	13:55	15:55
	那覇	541	11:05	12:00	542	12:45	13:30
		547	15:35	16:30	546	15:20	16:05
乗継※	名古屋	551/541 那覇経由	8:00	12:00	546/554 那覇経由	15:20	21:05
	福岡	503/541 那覇経由	8:00	12:00	546/506 那覇経由	15:20	20:55
	茨城	183/163 神戸経由	8:35	13:20	542/532 那覇経由	12:45	17:00
	新千歳	706/613 羽田経由	8:10	14:35	618/729 羽田経由	17:15	22:05



※乗継便に関しては最も早く下地島に到着/最も遅く下地島を出発できる便の組み合わせのみ掲載

<参考2> 下地島空港活性化協議会が実施したアンケートの結果

		1回目 (20年冬季)	2回目 (21年夏季)	3回目 (21年冬季)	4回目 (22年夏季)	所見
訪問回数	2回目以上	44%	58%	58%	48%	宮古圏域平均53.5%(沖縄県調査)
前回訪問時期	1年以内	47%	63%	62%	42%	宮古圏域平均27.8%(沖縄県調査)
誰と来たか	友人・恋人	15%	38%	20%	23%	友人・恋人に加え、 夫婦・家族旅行の利用が多い
	夫婦・家族	69%	49%	66%	68%	
訪問目的	自然環境	78%	87%	75%	86%	自然環境目的の訪問者が最も多い 夏季は海目的の訪問者が顕著
	マリンスポーツ	19%	35%	14%	39%	
旅行の満足度	非常に満足	57%	77%	64%	77%	季節・天候によって満足度が変化
年齢層	50代未満	62%	82%	63%	69%	宮古圏域平均55.3%(沖縄県調査)
平均宿泊数		3.00	3.31	3.10	3.22	宮古圏域平均2.86泊(沖縄県調査)